

平成30年度

島根大学大学院総合理工学研究科博士前期課程

総合理工学専攻

(物質化学コース)

入試問題 (第1次)

【英 語】

注 意

1. 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
2. 問題紙は3ページ(英語[I], 英語[II]), 解答用紙は4枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
3. 解答は、解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙は、持ち帰ってはならない。
5. 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

英語 [I]

問1 次の英文を読み、問いに答えよ。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

- (1) 下線部①～③の語句の和訳として、適切なものを記せ。
- (2) 下線部(a)を和訳せよ。
- (3) 下線部(b)を和訳せよ。
- (4) 文章中で紹介されているトルエンを合成する方法について、日本語で説明せよ。

問2 次の英文を和訳せよ。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

英語[II]

問1 次の英文(1)~(3)を和訳せよ。

- (1) This intermediate is too labile to be isolated, and its constitution has therefore to be determined indirectly.
- (2) Activated carbons prepared in the present study showed better adsorption properties than commercial ones.
- (3) The added phosphorous plays an important role to stabilize Nb^{4+} on the particle surface.

問2 略語を使わずに、次の単語を英訳せよ。

- (1) 核磁気共鳴
- (2) 赤外分光法
- (3) 紫外可視分光法
- (4) X線回折
- (5) 透過型電子顕微鏡

問3 次の文(1)~(3)を英訳せよ。

- (1) Bに対するAのプロットは良い直線性を示す。
- (2) 低いpHの溶液での反応については、現在、研究している。
- (3) 化合物Aの吸収スペクトルの形は、化合物Bとよく一致する。